

# 音楽科学習指導案

指導者 松前良昌

**日時** 平成28年11月19日（土） 第2校時（11：05～11：55）  
**年組** 中学校第3学年2組 計40名（男子18名，女子22名）  
**場所** 中学校音楽教室  
**題材** 合唱表現を自分たちで工夫しよう！ ～タブレット端末を利用して  
          MASS（ミサ曲）より サンクトゥス SANCTUS（聖なるかな）  
          Mass Text（ミサ典礼文） / ステイヴ ドブロゴス Steve Dobrogosz 作曲

## 題材について

MASSとはラテン語のミサ典礼文に曲をつけて歌う音楽で、古来より、実際に教会のミサで歌われる曲から演奏会用の曲まで数多く作曲されてきた。1956年アメリカ生まれでスウェーデン在住のジャズピアニストであるDobrogosz氏は、この合唱、ピアノ、弦楽のためのMASSを1992年に発表したところ大きな支持を受け、すでに4大陸・30ヶ国以上で演奏されている。この作品は、彼がMass Textに得意のジャズテイストの音楽をつけ、Introitus（入祭唱）、Kyrie（あわれみの賛歌）、Gloria（栄光の賛歌）、Credo（信仰宣言）、Sanctus（感謝の賛歌）、Agnus Dei（平和の賛歌）の6曲で構成した大変現代的で美しいMASSに仕上げられている。第4曲Sanctusは、前半のリズミカルで激しい音楽に対し、後半は明るく天的なメロディが繰り返され、Kyrieのフレーズが挿入されるなど、神をたたえる高揚感で満ちあふれた曲となっている。

近年、本校の校内合唱コンクールでは、3年生が外国曲を自由曲として取り上げる傾向が続いており、このクラスもそれを希望した。ラテン語というハードルはあるものの音程は比較的取りやすく聴き映えのする曲であるため、クラスで約1ヶ月かけてチャレンジするには適していると考えている。

本校の生徒は、音楽に興味・関心をもっている生徒が多い。9月から実施した校内合唱コンクールの練習では、3年生は授業で取り組む前に自ら放課後等にパート練習をして、授業では全体練習の時間を確保するなど、意欲的かつ計画的・効率的に取り組んでいる。また、縦割り交流では、2・3年生が1年生を指導している。これらのことは下級生にとってよい模範となっている。授業では、指導に対しての反応もよく、自ら考えて表現しようとしたり、自分で詩の意味や曲の構成について調べたりする生徒もいる。本校では、個に応じた音域、バランスなどを考慮するとともに、より豊かな音の重なりをめざして第2学年から混声四部合唱に取り組んでいる。その結果、合唱にふさわしい発声が次第に身につけており、豊かな響きをもった質の高い演奏となってきている。しかし、技能面の向上の一方で、楽曲のどの部分でどの技能を活かして合唱表現を工夫するかを主体的に考えることは、十分にはできていないと考えている。また、生徒の中には自分がどのような発声や表情をしているかをなかなか自覚できないなどの課題もあった。その一方で、1年生の時は教師の細かい指示を待っている状況であったが、3年生になってからはリーダーを中心に自分たちで合唱表現の工夫を考えるようになってきており、教師が助言をしなくとも自分たちで表現を工夫する基礎は身につけていると考えている。

合唱表現には、作品に込められた作詩・作曲者の思いを汲み取り、解釈し、歌声で表すこと、つまり思考・判断し、表現することが求められる。その際に、身につけた技能をどう活かすかを考え、どれを選択するか判断し、よりよい表現をするために実際に利用できることが必要となる。そこで、合唱スキルの効果的な指導のためのツールとして、タブレット端末の利用を試みることにした。主としてパート

練習時に、自分たちの声をすぐに再生して聴いたり、顔の表情や口の開け方などを容易に自分で確かめることができるのではないかと考えたからである。昨年度、はじめて取り入れたため、まだまだ様々な問題点も見えてくると予想されるが、柔軟に対応することで、技能の向上をめざすとともに、よりよい表現をめざして生徒がリーダーを中心として主体的に技能を活用して合唱表現できるよう指導していきたい。さらには練習方法や形態の工夫により、生徒の思考力や判断力が求められる場を増やし、高めさせていきたい。そして他のパートとのかかわりを意識させるとともに、声部の役割や全体の響きの調和を感じ取らせ、曲にふさわしい豊かな表現ができるよう指導したい。

### 指導目標

1. 生徒自ら発声や音程・リズムなどの音楽的スキルを活用して合唱表現できるようにする。
2. 曲想や声部の役割や全体の響きを感じ取らせ、表現を工夫できるようにする。

### 指導計画

1. パート別および全体練習 ----- 4時間
2. 全体練習 ----- 4時間
3. まとめの表現 ----- 2時間（本時はその2時間目）

### 本時の目標

1. 自分の声の状態を理解し、音程・リズムなどの音楽的スキルを活用して歌唱することができる。
2. 曲想や声部の役割や全体の響きの調和を感じながら、表現を工夫して歌唱することができる。

### 協働的問題解決を生起させるための手立て

タブレット端末をパート練習に利用することで、パートの現状を客観視できるようにする。また、その中で気づいた点をより活発に意見交換させる。このようなパート練習を効果的に行うことによって、多様性・協働性・主体性の育成がこれまで以上に期待できると考えている。

### 学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点（◆ 評価）
<p>1. パート練習</p> <p><input type="checkbox"/> 発声や音程、リズムなどに注意して、パート別に活動する。</p> <p><input type="checkbox"/> パートリーダーが中心となって活動する。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要に応じてタブレット端末を活用する。</p>	<p>○表現を工夫するための方法を助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腹式呼吸になっているか。</li> <li>・出だしの音からきちんと歌っているか。</li> <li>・発声法を意識して歌っているか。</li> <li>・音程を正しく歌おうとしているか。</li> <li>・強弱などを考えて歌おうとしているか。など</li> </ul> <p>◆自分の声の状態を理解しながら、音楽的スキルを活かして歌うことができるか。</p> <p style="text-align: right;">【音楽表現の技能】</p>
<p>2. 全体練習</p> <p><input type="checkbox"/> 主として生徒指揮、後に教師が指揮をする。</p>	<p>○演奏の状態に応じて助言をする。</p>

<p>□発声や音程・リズムなどに注意して歌う。</p> <p>□お互いの演奏を聴き合い、曲にふさわしい表現になっているかどうかを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ローテーション形式 など</li> </ul> <p>□歌詞の内容をもとに、曲想に合った合唱表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指揮の指示、パートごとの相談 など</li> </ul> <p>□部分ごとに曲想の変化をつけて歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸法や発声法に気をつけているか。</li> <li>・リズム、音程、強弱などに気をつけているか。</li> <li>・子音の発音を工夫しようとしているか。</li> <li>・パートの声を揃えることを意識しているか。</li> <li>・他のパートを聴いて、ハーモニーやバランスをよくしようとしているか。</li> <li>・言葉の意味を伝えようとしているか。</li> <li>・曲想を考えて歌おうとしているか。</li> <li>・聴衆を意識して歌おうとしているか。など</li> </ul> <p>○生徒の状況を常に把握することを意識する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめは、あえて抽象的に指示することで自分でどう工夫するかを考えさせる。効果が表れにくい場合は、徐々にわかりやすく簡潔で具体的な指示をする。</li> <li>・今、何を指示するのが生徒にとって最も適切かを、常に考えて指示をする。</li> </ul> <p>◆歌詞の内容や曲想を考えながら、表現を工夫して歌唱することができるか。</p> <p style="text-align: right;">【音楽表現の創意工夫】</p>
<p>3. まとめ</p> <p>□通して歌う。</p>	<p>◆自ら考えた表現の工夫をいかして歌唱することができるか。</p> <p style="text-align: right;">【音楽表現の創意工夫】</p>

**参考文献** Steve Dobrogosz 作曲 「“MASS” for Choir, String Orchestra and Piano」 Sand Castle Music, Inc., 1992.

合唱団おおやま「第14回演奏会withオーケストラ・アンサンブル金沢」プログラム, 2009.

松前良昌・濱本恵康・三村真弓「生徒が主体的・協働的に学ぶ音楽科授業の実践ータブレット端末を利用したパート練習の試みー」広島大学附属東雲中学校, 2016.

松前良昌・濱本恵康・三村真弓「基礎的な音楽的技能の効果的な指導法ー3年間継続した発声指導の効果の検証ー」広島大学附属東雲中学校, 2015.

松前良昌・濱本恵康・三村真弓「高次の学力を支える音楽的技能の効果的な指導法IVー比喩的表現を用いたキーワードによる発声指導の効果の検証ー」広島大学附属東雲中学校, 2014.

松前良昌・濱本恵康・三村真弓「高次の学力を支える音楽的技能の効果的な指導法IIIー比喩的表現を用いたキーワードによる発声指導の実践研究ー」広島大学附属東雲中学校, 2013.

三村真弓・松前良昌他『中学校・高等学校音楽科における聴取力育成プログラム開発のための基礎的研究ー聴取力に着目した音楽科学力調査をとおしてー』学部・附属学校共同研究紀要No. 39, 広島大学学部・附属学校共同研究機構, 2010.

参考資料 過去3年間の校内合唱コンクール 課題曲・各クラス自由曲

平成28(2016)年度

課題曲	虹をこえて (1年:混声三部, 2・3年:混声四部, 3組:斉唱)	人見敬子 作詩・作曲
1年1組	青葉の歌	小森香子 作詞 / 熊谷賢一 作曲
1年2組	消えた八月	栄谷温子 作詞 / 黒沢吉徳 作曲
2年1組	混声合唱曲集「そのひとがうたうとき」より そのひとがうたうとき	谷川俊太郎 作詩 / 松下 耕 作曲
2年2組	混声合唱とピアノのための「新しい歌」より 新しい歌	<small>ガルシア ロルカ</small> García Lorca 作詩 / 長谷川四郎 訳詩 / 信長貴富 作曲
1・2・3年3組	ふるさと	小山薫堂 作詞 / youth case 作曲 / 松前良昌 編曲
3年1組	混声合唱曲「季節へのまなざし」より 4.ゆめみる	谷川俊太郎 作詩 / 信長貴富 作曲
3年2組	MASS (ミサ曲) より <small>サンクトゥス</small> SANCTUS (聖なるかな)	<small>ステイヴ</small> ミサ典礼文 / <small>ドブロゴス</small> Steve Dobrogosz 作曲

平成27(2015)年度

課題曲	虹色の明日 (1年:混声三部, 2・3年:混声四部, 3組:斉唱)	田中理恵子 作詩・作曲
1年1組	混声合唱のための唱歌メロデー「ふるさとの四季」より ~故郷・朧月夜・われは海の子・村祭・雪~	文部省唱歌〔高野辰之作詩/岡野貞一作曲(一部)]/源田俊一郎 編曲
1年2組	信じる	作詞:谷川俊太郎 / 作曲:松下 耕
2年1組	混声合唱とピアノのための曲集「初心のうた」より V. 泉のうた〔抜粋〕 IV. でなおすうた	木島 始 作詩 / 信長貴富 作曲
2年2組	混声合唱曲集「空に、樹に…」より 聞こえる	作詩:岩間芳樹 / 作曲:新実徳英
1・2・3年3組	世界に一つだけの花・花・花…	作詞・作曲:槇原敬之・喜納昌吉・小淵健太郎 / 編曲:松前良昌 作詞:武島羽衣・岩井俊二 / 作曲:瀧 廉太郎・菅野よう子
3年1組	混声合唱のためのAgnus Dei = 空海・真言・絶唱〔抜粋〕	<small>こくぞう ぼくしんごん こうみょうしんごん アニコス デイ</small> 詞:千原英喜・虚空蔵菩薩真言・光明真言・Agnus Dei 作曲:千原英喜 / 編曲:松前良昌
3年2組	Five Days that Changed the World (世界を変えた5つの日)より 1. Thursday 29 March 1455: The Invention of Printing (1455年3月29日(木):印刷の発明) 3. Monday 14 December 1903: The First Powered Flight (1903年12月14日(月):初の人力飛行)	<small>チャールズ ベネット</small> 作詞:Charles Bennett / <small>ボブ チルコット</small> 作曲:Bob Chilcott

平成26(2014)年度

課題曲	大切なもの (1年:混声三部, 2・3年:混声四部, 3組:斉唱)	山崎朋子 作詞・作曲
1年1組	合唱組曲「ことばあそびうた」より 1.やんま 5.かぞえうた	谷川俊太郎 作詩 / 新実徳英 作曲
1年2組	合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」より 1.サーカスのうた 5.動物を殺せ 10.ぞうれっしゃよはしれ	小出隆司 原作 / 清水則雄 作詞 / 藤村記一郎 作曲
2年1組	混声合唱組曲「海の詩」より 2.内なる魚(シーラカンス) 5.航海	岩間芳樹 作詩 / 広瀬量平 作曲
2年2組	混声合唱とピアノのための「新しい歌」より V. 一詩人の最後の歌	<small>アンデルセン</small> H. C. Andersen 作詩 / 山室 静 訳詞 / 信長貴富 作曲
1・2・3年3組	映画「かぐや姫の物語」主題歌 いのちの記憶	二階堂和美 作詞・作曲
3年1組	Candlelight Carol (ともしびのキャロル) Lamentations of Jeremiah (エレミアの哀歌)	<small>ジョン ラター</small> John Rutter 作詞・作曲 <small>ランダル ストロープ</small> Z. Randall Stroope 作曲
3年2組	混声合唱とピアノのための「くちびるに歌を」より 4. くちびるに歌を - Hab' ein Lied auf den Lippen -	<small>ツェーザー フライシュレン</small> Cäsar Flaischlen 作詩 / 信長貴富 訳・作曲

※ 各クラスの課題曲・自由曲は、生徒の実態に合わせ、授業者が校内利用のために編曲している部分があります。